NPO法人
原発ゼロ市民共同 かわさき発電所 ニュースレター

第43号

でん太通信

den ta tu～sin

●発行　2018.3.15. NPO 法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所

●発行責任者　川岸卓哉

■2/18「３号機発電所『見学会』・『通電式』」開催報告

２月１８日（日）、公益財団法人横浜勤労者福祉協会（略称：横福協）が運営する**「うしおだ診療所」**（横浜市鶴見区本町通）の屋上に設置した３号機発電所の『見学会』を 12：00 から開催しました。

当日は穏やかな絶好の見学日和で、４０人の方が鶴見駅から約１０分の現地まで歩き、診療所のご好意で３階までエレベーターに乗って屋上へ上がりました。

屋上に設置された太陽光パネル４８枚、１２．９６ｋｗの施設を目の当たりにした皆さんからは質問が飛び交いました。まず、診療所の小熊道代事務長からご挨拶があり、ここに３号機を設置するまでの紆余曲折を田中哲男副理事長より報告、私からは施設概要を説明させていただきました。

「うしおだ診療所」屋上　太陽光パネル設置状況（パネル４８枚のうち３０枚分）

３号機をバックに記念撮影

川沿いにあり風が強く、山型配置の D-Dome 工法を採用、風荷重を相殺し側面からの浮力はバラストで抑えるとともにパラペットよりも低い位置に設置することにいたしました。

河川氾濫時、３階まで冠水することから屋上を避難用に想定しているため、広い屋上のうち一部（２か所）を無償でお借りし、非常時には太陽光発電で得られる電気を病院で使うことができます。

資金は、２／３を神奈川県地域主導再生可能エネルギー事業費補助金を申請、NPO 法人としては初めて採用されました。残りの１／３は株式会社政策金融公庫から低利で借り入れ、これも屋根置き型では初めての融資と聞いています。国と県が認めた施設といえるかと思います。

会場を**汐田総合病院**（横浜市鶴見区矢向）の１階会議室に移して１４：００から『通電式』を行い、参加者は７０人を越えました。まず、主催者の当NPO法人から田中哲男副理事長、横福協から佐藤真琴事務局長の挨拶の後、原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟（通称：原自連）の事務局次長 木村結さんから来賓挨拶をいただきました。

「記念講演」講師の佐藤彌右衛門さん

その後、「日本と再生」ダイジェスト版の映画上映。記念講演は会津電力社長の**佐藤彌右衛門さん**より「再生可能エネルギーで地域おこし」と題し、質疑を含め１時間お話しいただきました。

喜多方市で２００年以上続く造り酒屋・大和川酒造が震災の影響を受け、２０１３年８月に会津電力を設立。佐藤彌右衛門さんは脱原発を引っ張る闘士ですが穏やかな話しぶり、時に絶句する気持ちの強さ、あっという間の１時間でした。

通電式記念として、発電所１号機から今回の３号機通電式までのいきさつをPV、パワポで当NPO法人 川岸卓哉理事長が即席資料を交え報告、２０１５年から始まる歴史を振り返らせてくれました。最後は、民医連の方たちが集まった「思いやりバンド」の楽しくにぎやかな歌と演奏で閉会となりました。

「思いやりバンド」の演奏

『通電式』終了後、記念撮影 ＠汐田総合病院 会議室

佐藤彌右衛門さんと懇親会

終了後、尻手駅近くの居酒屋で佐藤彌右衛門さんを交えた懇親会も有意義で楽しく、４号機立地の話や、次の合宿候補地として会津電力視察の話など大いに盛り上がり、１９時過ぎ散会となりました。

事業検討チーム　**永田 眞一**

✿✿

川崎地域エネルギー市民協議会 設立2周年記念講演会

『今なぜ再エネ条例が必要なのか?』

～「神奈川県再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例」制定に学ぶ～

講師 ： 丸山 善弘氏 （神奈川県消費者団体連絡会事務局長、県条例の立役者）
日時 ： 2018年3月20日（火） 19:00～20:30
場所 ： 高津市民館 視聴覚室（マルイ11階）　　**※参加費無料、申込不要**

■「川崎市再生可能エネルギー条例制定プロジェクト」推進中

“原発に依存しない持続可能なエネルギーを使う社会に暮らしたい。そのために小規模分散型の発電設備を持ち、エネルギー政策に市民が参画できる街を目指す条例の制定をしたい”と「川崎地域エネルギー市民協議会」（以下、市民協議会）の下部組織として昨年 11 月、「再エネ条例制定プロジェクト」（以下、条例プロジェクト）が発足しました。もともと市民条例案は当ＮＰＯ法人の政策検討チームから生まれたものです。１団体ではできないことも、多くの団体が集まれば交渉に役立つと、市民協議会に移行したわけです。

しかし全国でも市民提案で条例を制定できた例は極めて少なく、実現に向かうにはどう活動したら良いか大いに迷うところ。まず先進事例を学ぼうと、「神奈川県再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例」の立役者である丸山善弘さんを訪ねました。これが市民協議会設立２周年記念講演、丸山善弘さん講師の「今なぜ再エネ条例が必要なのか？」につながっています。※3 月 20 日（火）、高津市民館視聴覚室にて 19 時から 20 時半講演。

条例プロジェクトの本格的始動は生活クラブ生協かながわ新年会での挨拶からスタート。次に川崎市民活動見本市「ごえん楽市」、かわさき生活クラブ生協のコモンズ・デポー大会 11 ヶ所、「原発ゼロへのカウントダウン in かわさき」の集会でもアピールさせていただきました。（写真）

「川崎市の法律である条例を作ろうと挑戦しています。それにはお金が必要です。議会に承認してもらうには署名が必要です。何よりもこの意義をここにいる皆さんに理解してもらうことが必要です。そこで、『日本と再生』のダイジェスト版（原自連提供）を川崎市各区で開催することにしました。若いお母さんたちにも来てもらえるよう託児も設けます」などと訴えました。

結果、「かながわ生き活き市民基金」と皆さんのご協力で、寄付目標金額の 60 万円を達成することができました。特にコモンズ・デポー大会では約 160 人の方から計 12 万 8 千円を寄付していただきました。市民基金の寄付は３月 20 日までです。

寄付活動は目標のほんの 1 合目。次には、市民に再生可能エネルギーの意義を伝えながら、３万筆の賛同を集めます。川崎市議や行政にも働きかけていきます。

川崎市の再生可能エネルギーを推進する条例制定に、皆さんの知恵とご協力をお願いします。　詳しくはこちらから

理事　**高橋 喜宣**
（川崎地域エネルギー市民協議会
再エネ条例制定プロジェクトメンバー）

寄稿 ■活動紹介コーナー■　No.9

なくそう原発あつぎの会　事務局長　**遠藤 睦子**

２０１１年3月１１日、福島第一原子力発電所の壮絶な事故、私たちの生存基盤が大きく揺さぶられました。２０１３年5月、「子供たちの未来に、これ以上負の遺産を押し付けたくない」という思いで、原発問題をきちんと学び、大勢の人にも知ってもらおうと、「なくそう原発あつぎの会」を作り、勉強会や講演会・映画会を行ってきました。また他の脱原発を求める団体と共に毎月 11 日に本厚木駅前で脱原発宣伝や署名活動を、毎年３月には「さよなら原発パレード in あつぎ」を続けています。

私たちの会はきちんとした会員名簿も会費もないゆるやかなグループで、企画に関わりたいメンバーが月一度の事務局会議に集まって進めてきました。参加者を募る上映会や勉強会はこれまでに 15 回、事務局メンバーだけの勉強会や見学会を合わせると計 20 回の催しを積み重ねてきました。2014 年には今や引っ張りだこの城南信用金庫顧問の吉原毅さんの講演会をかわきりに、鈴廣かまぼこの鈴木悌介さん、2016 年には電力自由化について FoE-Japan の吉田明子さんにお願いしました。上映会と監督のトークは「日本と原発シリーズ３作」「小さき声のカノン」「飯舘村の母ちゃんたち」。昨年は福島の健康被害について、医療生協の医師・牛山元美さんの講演会を開催しました。（写真）

福島では避難指示解除、帰還政策がすすめられ、一方では止まっていた原発が再稼働されていく中で、毎月の駅前宣伝、映画会や勉強会を開催することはもちろん大きい意義があるのですが、もう一歩前に踏み出したいという思いが私の中で膨らんできていました。そんな１年前の３月 20 日代々木公園で「かわさき発電所」の青いのぼり旗に引き寄せられました。その４日後の学習会に訪問し、ますますビックリ。私がやってみたかった市民発電所を実現されているみなさまの先見性とポテンシャルの高さ、また浜岡原発の事故シミュレーションではまさに厚木が大変な事になる！この情報をなんとか厚木の仲間にも伝えたい、川崎の市民活動を厚木に紹介したいと、あつかましく講演をお願いしました。そして 12 月に貴「NPO 法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所」の田中哲男さん、加藤伸子さんにお越しいただき「浜岡原発の危険性」とワークショップの学習と、かわさき発電所のご紹介をしていただくことができました。起爆剤のような反響がありました。市民発電所を始めたいというメンバーも増えつつあり、夢物語が現実味を帯びてきています。まだまだハードルはたくさんありますが、これからもかわさき発電所のみなさまにご相談にのっていただきながら形にしていければ嬉しいです。ありがとうございました。

【編集後記】

3.11「原発ゼロへのカウントダウン in かわさき」集会に当 NPO 法人も参加させていただきました。7 年が過ぎても何も良くなっていないと感じるのは私だけでしょうか・・・。集会のご報告は４月１５日に発行予定です。　（加藤伸子）

■NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所■

ホームページ

http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/

フェイスブック

https://www.facebook.com/genpatuzero.hatuden

連絡先 TEL 090―7948―6189（川岸）

でん太通信は毎月 15 日に発行しています。